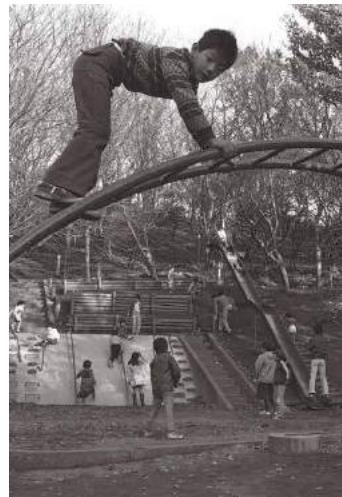
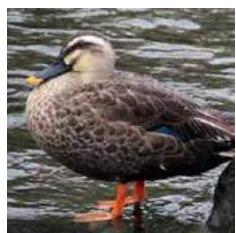


保土ヶ谷区略年表



901	1931	「和名抄」に久良郡星川郷、都筑郡幡屋郷などの郷名がある。
1480	1948	太田道灌の歌日記「平安紀行」に「帷子」の地名がある。
1559	1959	小田原北条氏の所領の記録「小田原衆所領役帳」に、星川、仏向、保土ヶ谷、川島、今井の地名がある。
1601	1961	東海道に宿駅の制度が定められ、保土ヶ谷宿が幕府の公認の宿場となり、本陣・問屋場が置かれる。
1648	1968	新道（現在の旧東海道）ができ、宿場が移る。
1663	1963	保土ヶ谷宿で大火、500棟が消失。
1707	1970	富士山が噴火し、降灰のため凶作となる。（以後5回）
1831	1981	葛飾北斎（1760～1849）が「富嶽三十六景」のうち「境木」を作成。
1834	1984	安藤広重（1797～1858）が「東海道五十三次」のうち「帷子橋」を作成。
1848	1984	保土ヶ谷宿で山駕籠の賃借が禁止される。
1854	1984	吉田松陰が保土ヶ谷宿に来宿。
1870	1987	本陣・問屋場が禁止される。
1871	1987	保土ヶ谷郵便取扱所が設置される。
1873	1989	程谷学舎が設置される。
1884	1990	保土ヶ谷「戸塚間の新道」が完成。
1887	1992	東海道程ヶ谷駅が完成。
1889	1992	横浜市が誕生。
1891	1993	横浜浄水場が竣工。
1892	1993	西谷浄水場が竣工。
1893	1993	保土ヶ谷町と西谷村が横浜市に編入。
1895	1995	横浜市児童遊園地が開園。
1897	1994	二俣川村が保土ヶ谷区に編入。
1899	1994	神中鉄道（現在の相模鉄道）が横浜駅へ乗り入れ厚木～横浜駅間が開通。
1901	1995	保土ヶ谷駅東口が開設。市電との乗り継ぎが便利になる。
1905	1995	レンガ坂が完成。
1907	1995	横浜新道が開通。
1909	1995	明神台団地が完成。
1919	1995	市が10区から14区に再編され、保土ヶ谷区から旭区が分区する。
1920	1996	狩場町に環境事業局保土ヶ谷工場が完成。
1927	1997	保土ヶ谷ブルーと老人福祉センター狩場緑風荘が開館。
1929	1997	横浜国大が常盤台地区へ移転。その後、順次学部も移転。
1932	1997	市電トロリーバスが全線廃止され、最後の花電車が運行。
1934	1997	保土ヶ谷バイパスが開通。
1937	1997	区のシンボルマークを制定。
1980	1998	狩場町に環境事業局保土ヶ谷工場が完成。
1981	1998	保土ヶ谷ブルーと老人福祉センター狩場緑風荘が開館。
1982	1998	ほどがや地区センター（ほどがや希望の家）が開館。
1986	1998	保土ヶ谷公会堂・保土ヶ谷図書館が開館。
1987	1998	西谷地区センターが開館。
	1998	横浜水道記念館が開館。



1989

初音が丘地区センターが開館。

保土ヶ谷スボーツセンターが開館。

市制100周年を記念して区の花(すみれ)と鳥(カルガモ)を制定。

横浜ビジネスパーク第1期工事分が完成。

環状2号線(羽沢地区)が暫定開通。

横浜市岩間市民プラザが開館。

県立保土ヶ谷公園内に「かながわアートホール」が開館。

借いわまワークス・保土ヶ谷区国際交流コーナーが開館。

区の色(ほどかやグリーン)を制定。

横浜神奈川3号狩場線が開通。

岩崎地域ケアプラザが開館。

「保土ヶ谷区防災計画」を策定。

環状2号線が開通。

「ほどかや花憲章」を制定。

かながわ・ゆめ国体が開催。

今井地区センター・今井地域ケアプラザが開館。

分区以来はじめて人口が20万人になる。

2001 横浜市西部地域療育センターが開設。

複合施設「かるがも」が開館。

障害地域活動ホーム「ゆめ」が開館。

2004 「くぬぎ台小学校コミュニティハウス」が開館。

2005 市民活動支援センター(アワーズ)が開館。

2003 仏向地域ケアプラザが開館。

2004 「今井川プロムナード」が開通。

2009 横浜開港150周年を迎える。

2010 常盤台ケアプラザ・常盤台コミュニティハウスが開館。

2011 APECが開催。

たちはなの丘公園保土ヶ谷区側がオープン。

2013 川島地域ケアプラザが開館。

東日本大震災が起きる。

2014 横浜国立大学と連携協力協定を締結。

横浜市初の協働事業として実施することになる。

星川中央公園多目的広場がオープン。

2016 星川中央公園が全面オープン。

2017 区制90周年を迎える。